

【ソフト名	】	TMice
【バージョン	】	1.17
【対応OS	】	Windows 2000/XP
【開発言語	】	Microsoft Visual C++ .NET 2002 SP1
【転載・条件	】	メールで連絡
【著作者	】	Takenco
【連絡先	】	このテキストの末尾を参照

TMice の動作に必要な DLL について

後述されているように、TMice(ティ・エム・アイス) の動作には各書庫に対応した DLL が必要となります。別途入手してインストールを済ませておいてください。

最低 UNLHA32.DLLはインストールしておいてください。

ほかにインストールされていない場合は、LZH書庫のみ扱えます。インストール方法については、各 DLL のドキュメントを参照してください。Internet を利用できる方については『統合アーカイバ・プロジェクト』(<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>) をお勧めします。

0 . はじめに

TMice.exe は LZH などの書庫に格納されているファイルを圧縮・展開するためのプログラムです。
LZH, ZIP, CAB, TAR, BGA, 7Z 書庫の圧縮・展開, ARJ, GCA, RAR 書庫の展開が行えるようになっています。
ファイルを分割・結合する機能もあります。

【インストール】

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、すべて同じフォルダに置いてください。

【アンインストール】

ファイルの関連付け設定を行った場合は「関連付け設定」のチェックをすべて外して関連付けを解除してからインストールしたフォルダとそのフォルダ以下のファイルを削除してください。

各ショートカットを作成した場合は手動で削除してください。

【関連付け】

関連付けする場合にTMice以外の書庫操作ツールに関連付けされている場合チェックを外してからTMiceに関連付けしたい書庫種類だけをチェックを入れてください。そうしないとすべてTMiceに関連付けされますので注意してください。

旧バージョンアップをお使いの方への注意事項

旧バージョンをお使いの場合は関連付けを解除してからバージョンアップしてください。
万一、解除しないでバージョンアップした場合は一度関連付けを解除して頂き、改めて関連付けを行ってください。

1 . 書庫内のファイルについて

TMice.exe プログラム本体です。最低限これだけは必要です。
TMice.chm ヘルプファイル。なくても構いませんが、
 当然ながらヘルプの利用はできなくなります。
ReadMe.txt このドキュメントファイルです。

MFC70.DLL MFCランタイム
MSVCR70.DLL

印は必須なので削除しないでください。

すべて同一フォルダに置いてください。

2 . TMice.exe が使用する DLL について

TMice の動作させるには、各種書庫に対応したアーカイバ DLLを
インストールしておく必要があります。

ライブラリは出来るだけ最新版をお使いください。

各 DLL は以下のバージョン以降のものを使用して下さい。 基本的にはどれか
一つがあれば動作しますが、 '*' のマークが付加されているものは、単体では使
えません。

UNLHA32.DLL	Ver 1.52	LZH 書庫の操作に必要。
ZIP32.DLL	Ver 2.3	ZIP 書庫の圧縮に必要。
ZIP32J.DLL	Ver 0.30	ZIP 書庫の圧縮に必要。
UNZIP32.DLL	Ver 5.40	ZIP 書庫の展開に必要。
7ZIP32.DLL	Ver 3.13	7Z 書庫の操作に必要。
CAB32.DLL	Ver 0.92	CAB 書庫の圧縮展開に必要。
TAR32.DLL	Ver 2.12	TAR 書庫の圧縮展開に必要。
BGA32.DLL	Ver 0.30	GZA,BZA 書庫の操作に必要。
ISH32.DLL	Ver 0.37	ISH の作成復元に必要。
UNARJ32.DLL	Ver 0.42	ARJ 書庫の展開に必要。
UNGCA32.DLL	Ver 0.08	GCA 書庫の展開に必要。
UNRAR32.DLL	Ver 0.05	RAR 書庫の展開に必要。

また、一部の DLL についてはそれを動作させるために別途 DLL を必要とする
ものがあります。

ZIP32J.DLL これで ZIP書庫への圧縮・格納を行うには、
UNZIP32.DLL か DMZIP32.DLL による
ZIP書庫の展開を行えることが前提となります。

ZIP32J.DLL 及び この DLL が内部的に使用していることから、

ZIP32.DLL 別途 IZIP32J.DLL か ZIP32.DLL が必要となります。また、Zip の自己解凍書庫を作成する場合には、さらに SFX32GUI.DAT が必要となります。

UNRAR32.DLL この DLL が内部的に使用していることから、別途 UNRAR.DLL が必要となります。

それぞれの DLL は、Internet を利用できる方については『統合アーカイバ・プロジェクト』(<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>) をお勧めします。

3．操作方法

詳しくは付属のヘルプファイルを見てください。

4．転載及び著作権について

TMice はフリーソフトです。 商用目的ではない、個人的な使用、オリジナル書庫での他ネット等への転載及び配布に関しては特に制限は付けません。ただし、転載・配布する場合に、メディア代等以上の手数料を徴収したり、使用に制限を付けることはこれを禁じます。書庫ファイル及び格納ファイルの改変を含むオリジナル配布書庫以外の形態での転載・配布は認めません。

他ネット等への転載時には、事後でも構いませんので私まで連絡をお願いします。

商用・公用・私用にかかわらず、書籍等への収録やソフトへのバンドルについては条件がありますので、必ず事前に連絡をお願いします。企業・団体等での業務利用や業務用ソフトやオンラインソフトでの使用を前提とした転載等もこれに含みます。連絡がなかった場合には、しかるべき処置を講じさせていただく場合があります。

TMice についての著作権はTakencoが保有しています。これらのプログラムの使用によって生じた損害等については、作者は何も補償する義務を負わないこととさせていただきます。

5．サポートについて

1．メール

メール送信するにはバージョン情報の E-Mail をクリックしてください。
メールブラウザの設定上メールが届かない（拒否、または削除される）場合がありますので 件名にTMiceの文字を入れてください。

6．開発履歴

2003/02/23	ver 1.0	開発開始
2005/06/19	ver 1.11	圧縮直後に自己解凍書庫が閲覧できなかった不具合を修正
12/05	ver 1.13	正式公開
12/18	ver 1.14	書庫を解凍したときフォルダ構造(ツリー表示)が復元できなかったの で解凍を含むソフト全般を見直して修正。 ZIP書庫、CAB書庫を作成したとき、書庫情報->更新時刻 が 取得できていない不具合を修正。

2006/01/04 ver 1.15 一部のファイルが開けなかった不具合を修正。
03/08 ver 1.16 解凍時のフォルダ選択ダイアログにフォルダ作成ボタンを追加
書庫内のファイルを削除するときのアクセラレータキーを設定
選択したファイルを"Delete" "Del"で削除できます。(忘)
07/10 E-Mailアドレスを変更。
09/11 ver 1.17 7-Zip書庫の圧縮を7-ZIP32.DLLのVer 3.13以降での圧縮動作が
不安定になる不具合を修正。

7. 最後に

TMice(ティ・エム・アイス) が何かのお役に立てれば幸いです。

Takenco

```
=====
【ソフト名    】    TMice
【バージョン   】    1.17
【対応OS      】    Windows 2000/XP
【開発言語    】    Microsoft Visual C++ .NET 2002 SP1
【転載・条件  】    メールで連絡
【著作者     】    Takenco
【連絡先     】    このテキストの末尾を参照
=====
```

TMice の動作に必要な DLL について

後述されているように、TMice(ティ・エム・アイス) の動作には
各書庫に対応した DLL が必要となります。
別途入手してインストールを済ませておいてください。

最低 UNLHA32.DLLはインストールしておいてください。

ほかにインストールされていない場合は、LZH書庫のみ扱えます。
インストール方法については、各 DLL のドキュメントを参照してください。
Internet を利用できる方については『統合アーカイバ・プロジェクト』
(<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>) をお勧めします。

0. はじめに

TMice.exe は LZH などの書庫に格納されているファイルを圧縮・展開するた
めのプログラムです。
LZH, ZIP, CAB, TAR, BGA, 7Z 書庫の圧縮・展開, ARJ, GCA, RAR 書庫の展開
が行えるようになっています。
ファイルを分割・結合する機能もあります。

【インストール】

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、
すべて同じフォルダに置いてください。

【アンインストール】

ファイルの関連付け設定を行った場合は「関連付け設定」の
チェックをすべて外して関連付けを解除してから
インストールしたフォルダとそのフォルダ以下のファイルを削除してください。

各ショートカットを作成した場合は手動で削除してください。

【関連付け】

関連付けする場合にTMice以外の書庫操作ツールに関連付けされている場合
チェックを外してからTMiceに関連付けしたい書庫種類だけをチェックを入れてください。
そうしないとすべてTMiceに関連付けされますので注意してください。

旧バージョンアップをお使いの方への注意事項

旧バージョンをお使いの場合は関連付けを解除してからバージョンアップしてください。
万一、解除しないでバージョンアップした場合は
一度関連付けを解除して頂き、改めて関連付けを行ってください。

1．書庫内のファイルについて

TMice.exe	プログラム本体です。最低限これだけは必要です。
TMice.chm	ヘルプファイル。なくても構いませんが、 当然ながらヘルプの利用はできなくなります。
ReadMe.txt	このドキュメントファイルです。

MFC70.DLL MFCランタイム
MSVCR70.DLL

印は必須なので削除しないでください。

すべて同一フォルダに置いてください。

2．TMice.exe が使用する DLL について

TMice の動作させるには、各種書庫に対応したアーカイバ DLLを
インストールしておく必要があります。

ライブラリは出来るだけ最新版をお使いください。

各 DLL は以下のバージョン以降のものを使用して下さい。 基本的にはどれか
一つがあれば動作しますが、'*' のマークが付加されているものは、単体では使
えません。

UNLHA32.DLL	Ver 1.52	LZH 書庫の操作に必要。
ZIP32.DLL	Ver 2.3	ZIP 書庫の圧縮に必要。
ZIP32J.DLL	Ver 0.30	ZIP 書庫の圧縮に必要。
UNZIP32.DLL	Ver 5.40	ZIP 書庫の展開に必要。
7ZIP32.DLL	Ver 3.13	7Z 書庫の操作に必要。
CAB32.DLL	Ver 0.92	CAB 書庫の圧縮展開に必要。
TAR32.DLL	Ver 2.12	TAR 書庫の圧縮展開に必要。
BGA32.DLL	Ver 0.30	GZA,BZA 書庫の操作に必要。
ISH32.DLL	Ver 0.37	ISH の作成復元に必要。
UNARJ32.DLL	Ver 0.42	ARJ 書庫の展開に必要。

UNGCA32.DLL Ver 0.08 GCA 書庫の展開に必要。

UNRAR32.DLL Ver 0.05 RAR 書庫の展開に必要。

また、一部の DLL についてはそれを動作させるために別途 DLL を必要とするものがあります。

ZIP32J.DLL これで ZIP書庫への圧縮・格納を行うには、
UNZIP32.DLL か DMZIP32.DLL による
ZIP書庫の展開を行えることが前提となります。

ZIP32J.DLL 及び この DLL が内部的に使用していることから、
ZIP32.DLL 別途 IZIP32J.DLL か ZIP32.DLL が必要となります。また、Zip の自己解凍書庫を作成する場合には、さらに SFX32GUI.DAT が必要となります。

UNRAR32.DLL この DLL が内部的に使用していることから、
別途 UNRAR.DLL が必要となります。

それぞれの DLL は、Internet を利用できる方については『統合アーカイバ・プロジェクト』(<http://www.csdinc.co.jp/archiver/>) をお勧めします。

3．操作方法

詳しくは付属のヘルプファイルを見てください。

4．転載及び著作権について

TMice はフリーソフトです。 商用目的ではない、個人的な使用、オリジナル書庫での他ネット等への転載及び配布に関しては特に制限は付けません。ただし、転載・配布する場合に、メディア代等以上の手数料を徴収したり、使用に制限を付けることはこれを禁じます。書庫ファイル及び格納ファイルの改変を含むオリジナル配布書庫以外の形態での転載・配布は認めません。

他ネット等への転載時には、事後でも構いませんので私まで連絡をお願いします。

商用・公用・私用にかかわらず、書籍等への収録やソフトへのバンドルについては条件がありますので、必ず事前に連絡をお願いします。企業・団体等での業務利用や業務用ソフトやオンラインソフトでの使用を前提とした転載等もこれに含みます。連絡がなかった場合には、しかるべき処置を講じさせていただく場合があります。

TMice についての著作権はTakencoが保有しています。これらのプログラムの使用によって生じた損害等については、作者は何も補償する義務を負わないこととさせていただきます。

5．サポートについて

1．メール

メール送信するにはバージョン情報の E-Mail をクリックしてください。
メールブラウザの設定上メールが届かない（拒否、または削除される）

場合がありますので 件名にTMiceの文字を入れてください。

6. 開発履歴

2003/02/23	ver 1.0	開発開始
2005/06/19	ver 1.11	圧縮直後に自己解凍書庫が閲覧できなかった不具合を修正
12/05	ver 1.13	正式公開
12/18	ver 1.14	書庫を解凍したときフォルダ構造(ツリー表示)が復元できなかったのが 解凍を含むソフト全般を見直して修正。 ZIP書庫、CAB書庫を作成したとき、書庫情報->更新時刻 が 取得できていない不具合を修正。
2006/01/04	ver 1.15	一部のファイルが開けなかった不具合を修正。
03/08	ver 1.16	解凍時のフォルダ選択ダイアログにフォルダ作成ボタンを追加 書庫内のファイルを削除するときのアクセラレータキーを設定 選択したファイルを"Delete" "Del"で削除できます。(忘)
07/10		E-Mailアドレスを変更。
09/11	ver 1.17	7-Zip書庫の圧縮を7-ZIP32.DLLのVer 3.13以降での圧縮動作が 不安定になる不具合を修正。

7. 最後に

TMice(ティ・エム・アイス) が何かのお役に立てれば幸いです。

Takenco